

□議員名：山田伸幸

1 宇宙監視レーダーについて

論点	防衛省は、これまで宇宙空間のゴミを監視して日本の衛星にぶつからないようにと言ってきたが、監視対象の宇宙空間には問題になるような宇宙ゴミはほとんどないことが明らかになった。防衛省の資料を見ても宇宙ゴミのことは問題にされておらず、他国の軍事衛星のことばかりだ。市はいまだに初めの説明を信じているのか。
回答	監視する空間にも機能停止衛星やキラー衛星などがあり、これにゴミが衝突して新たに宇宙ゴミとなるのでデブリ監視も重要な役目であると説明を受けている。

論点	以前の説明ではレーダー施設から漏れる電波はほとんどないとしてきたが、資料の説明図に漏れ出る電波が描かれている。この電波が住民の健康を害すのではないのか。
回答	住民の健康や携帯の電波などへの影響については、建設されて電波照射の実測値でなければ判断できない。

論点	市は、防衛省が発表したデータを受け入れて市民に伝えるスピーカーの役割ではないのか。
回答	防衛省はレーダーの運用が始まる前に総務省の確認を受けるとしている。市も注視していきたい。

2 新型コロナウイルス感染症対策について

論点	昨年に続き、今年もクラスターが発生したが市として原因究明をすべきではないか。
回答	クラスターの確認後、県にPCR検査を要望し、市が中心となって検査会場の選定や呼びかけ、会場の設営や運営に当たってきた。原因究明については市としては、患者のプライバシー保護もあり難しい。

論点	PCR検査の受診はどうであったか。検査実施の呼びかけはどのように行ったのか。
----	--

回答	4日間で197人の方が受けられた。市民にはホームページや地元紙への掲載、幼稚園・保育園の一斉メールや防災メールも活用した。予約は248件あった。
----	--

論点	議会を招集した市長の責任として、出席者のPCR検査をすべきではなかったか。
回答	検体採取時の結果であるので実効性に乏しい。